

令和6年度 景気動向アンケート調査集計(R6年4月～6月)

1. 調査の概要

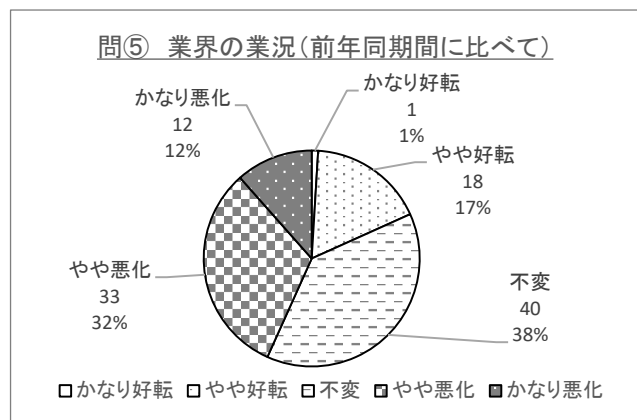
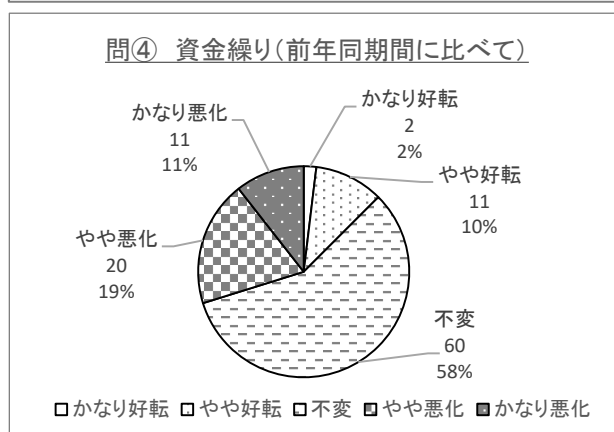
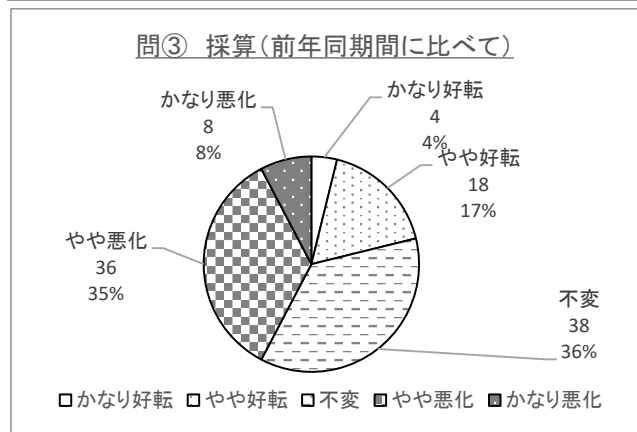
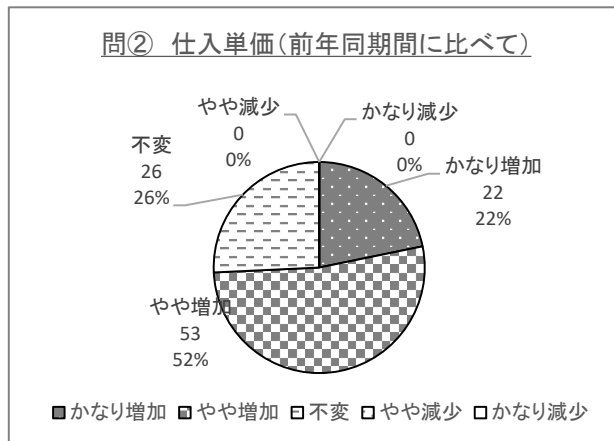
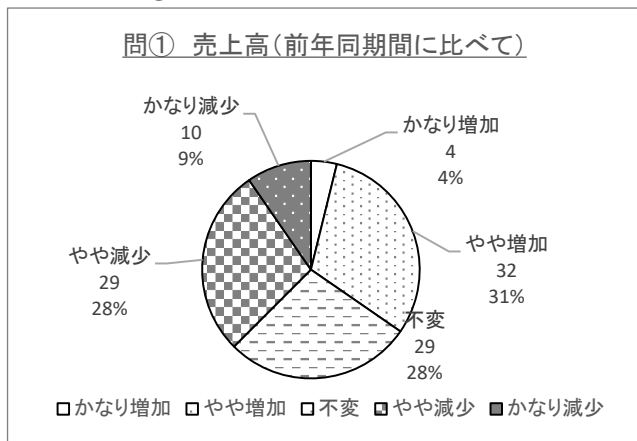
調査目的 : 第3期春日市商工会経営発達支援計画(令和5年3月認定)に基づき、会員事業者の景気動向を調査し、地域中小企業の状況を的確に把握した効果的な経営支援を実施すること、また、地域ニーズに応じた地域活性化事業検討の参考とすることを目的とする。

調査方法 : 連絡手段がメールとFAXで登録されている会員事業者を対象に調査を依頼。

実施期間 : 令和6年7月25日～令和6年8月16日

回答数 : 106事業者

2. 調査結果①…景況感に関する項目(問1～問5)



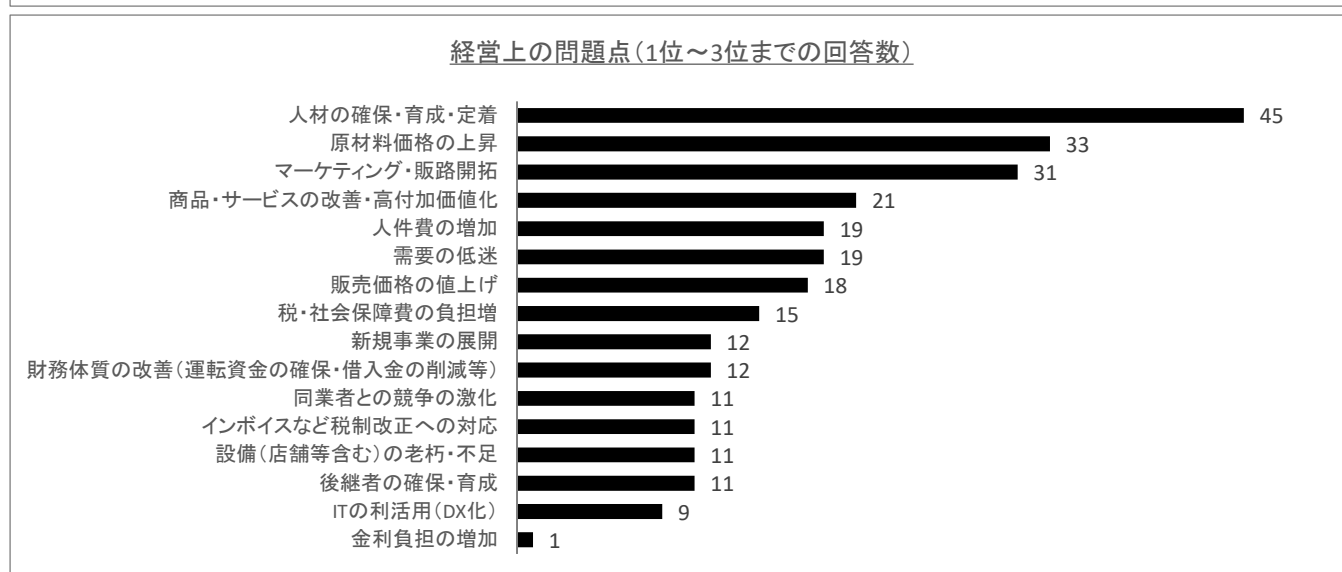
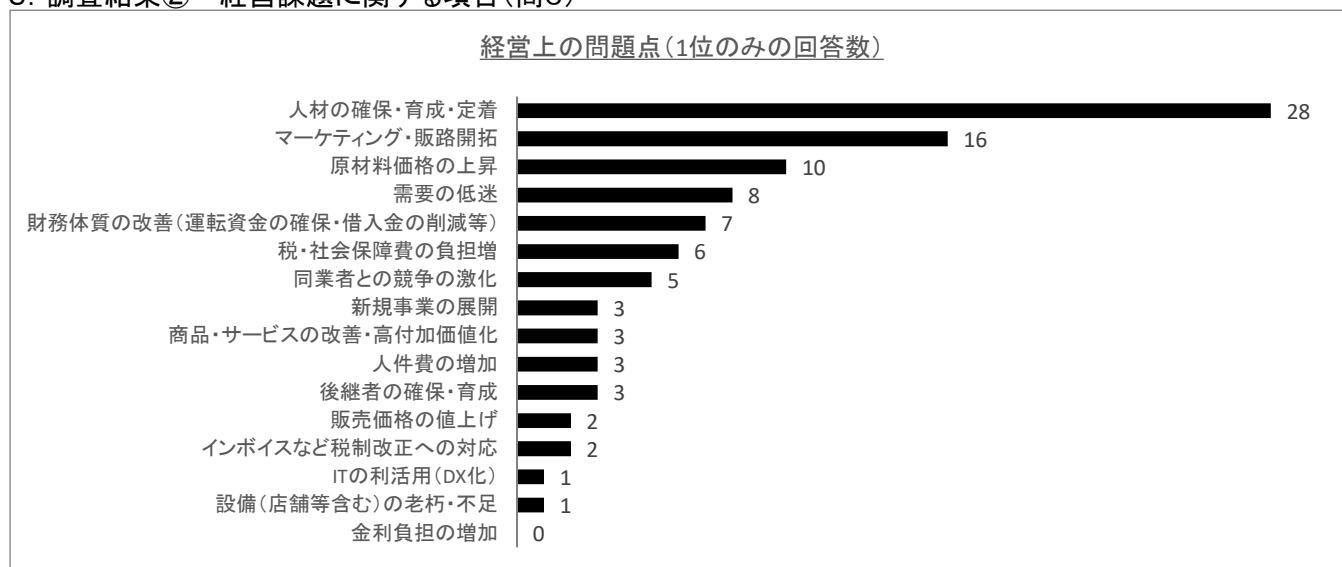
	かなり増加	やや増加	不変	やや減少	かなり減少	D.I
①売上高	4	32	29	29	10	-3%
②仕入単価	22	53	26	0	0	74%

	かなり好転	やや好転	不変	やや悪化	かなり悪化	D.I
③採算	4	18	38	36	8	-21%
④資金繰り	2	11	60	20	11	-17%
⑤業界の業況	1	18	40	33	12	-25%

【D.I】
 企業の業況感などの判断を指数化したもの。各設問につき5個の選択肢を用意し、選択肢毎の回答者数を集計し、全回答者数に対する構成比を算出した後、次式により算出する。
 $D.I = \text{「選択肢(かなり増加)の構成比} + \text{選択肢(やや増加)の構成比} - \text{「選択肢(やや減少)の構成比} + \text{選択肢(かなり減少)の構成比}」$

- 売上高について、前回調査結果では29%の事業者が増加したと回答していたが、今回は35%となり、+6%ポイントとなった。しかし、仕入単価が増加したとの回答は77%にのぼり、物価高の影響を受け続けていることが見込まれる。仕入単価が減少した事業者は0%となった。
- 採算においては、悪化したとの回答が43%、資金繰りにおいては30%となっている。前回調査結果では資金繰りが悪化したと回答した事業者は40%で、10%の改善となるが、好転ではなく不変の割合が増えている
- D.I値の分析においては、前回調査に引き続き、業界の業況が-25%と厳しい状況が続いている。

3. 調査結果②…経営課題に関する項目(問6)



- ☑ 前回の調査結果と同様に、「人材の確保・育成・定着」が1位だけの回答数、全体の回答数いずれにおいても、最も多くなっている。1位に選ばれる割合も増えてきており(前回22.4%、今回28.5%)、より人手不足が顕著な状況となっている。
- ☑ 前回の調査結果と同様に、「人材の確保・育成・定着」「マーケティング・販路開拓」「原材料価格の上昇」が上位を占めていることから、人手不足、物価高等の影響への対応、マーケティング・販路開拓への取組が共通課題となっていることが想定される。
前回からの変化点としては、前回調査では上位だった「新規事業の展開」が中位となり、「商品・サービスの改善・高付加価値化」が上位となっていることがあげられる。